

I

予算のポイント

- 1 令和2年度予算編成の考え方**
- 2 令和2年度予算全体額**
- 3 令和2年度予算による区民生活の変化**
- 4 令和2年度予算で取り組む重点施策**

<4 重点施策の説明>

重点施策は、項目ごとに関連事業の予算総額を記載し、主な取組について説明しています。

1 令和2年度予算編成の考え方

予算編成におけるキヤッチフレーズ

人がときめき、まちが輝く、区民の笑顔が未来に広がる予算

予算編成における基本方針

- 1 港区基本計画の最終年度として「港区ならではの地域共生社会」の実現に向けた取組を確実に実施するため、計画に計上した事業へ予算を優先的に配分します。
- 2 行政、区民、民間、全国各地域の「4つの力」を有機的に組み合わせた「参画と協働」を更に発展させ、各部門の主体性を最大限に發揮した港区ならではの質の高い行政サービスを提供します。
- 3 職員一人ひとりが税の重みを意識し、事務事業の見直し及び人件費、物件費等の経常的経費の節減など不断の内部努力を徹底します。

地域共生社会の実現に向けた重点施策の取組

① 子どもを地域社会で健やかに育むための取組

- ・（仮称）港区子ども家庭総合支援センター開設と児童虐待対策への取組
- ・教育センター・みなと科学館開設を契機とした学校支援・相談体制の強化
- ・妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の強化
- ・待機児童ゼロの継続と子育て環境の充実

など

地
域
共
生
社
会

② 安全・安心で誰もが自分らしく暮らせるための取組

- ・障害者福祉施策の総合的な推進
- ・地震・風水害等の自然災害への対策の強化
- ・誰もが自分らしく暮らせる取組の推進
- ・福祉総合窓口の設置に向けて

など

③ まちがにぎわい輝くための取組

- ・東京2020大会の成功とレガシーへの取組
- ・ICTを活用した更なる区民サービス向上への取組
- ・地域のにぎわいを創出する取組
- ・健康増進法や都条例の全面施行に対応した受動喫煙防止対策の強化

など

2 令和2年度予算全体額

予算の全体額

令和2年度の一般会計予算は1,454億4,000万円となり、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計の3つの特別会計を合わせた全体の予算総額は、1,929億7,862万5千円となります。

区分	令和2年度		令和元年度		対前年度比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	1,454億4,000万円	75.4%	1,415億7,000万円	75.2%	38億7,000万円	2.7%
国民健康保険事業会計	235億6,556万1千円	12.2%	242億9,512万2千円	12.9%	△7億2,956万1千円	△3.0%
後期高齢者医療会計	57億3,972万7千円	3.0%	55億4,453万9千円	2.9%	1億9,518万8千円	3.5%
介護保険会計	182億3,333万7千円	9.4%	169億1,104万1千円	9.0%	13億2,229万6千円	7.8%
合計	1,929億7,862万5千円	100.0%	1,883億2,070万2千円	100.0%	46億5,792万3千円	2.5%

区の予算は、区の基本的な活動に必要な経費を計上した根幹となる会計（一般会計）が約75%、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計の特別会計が約25%の割合を占めています。

● 一般会計

※基本的な活動に必要な経費を計上した根幹となる会計

● 後期高齢者医療会計

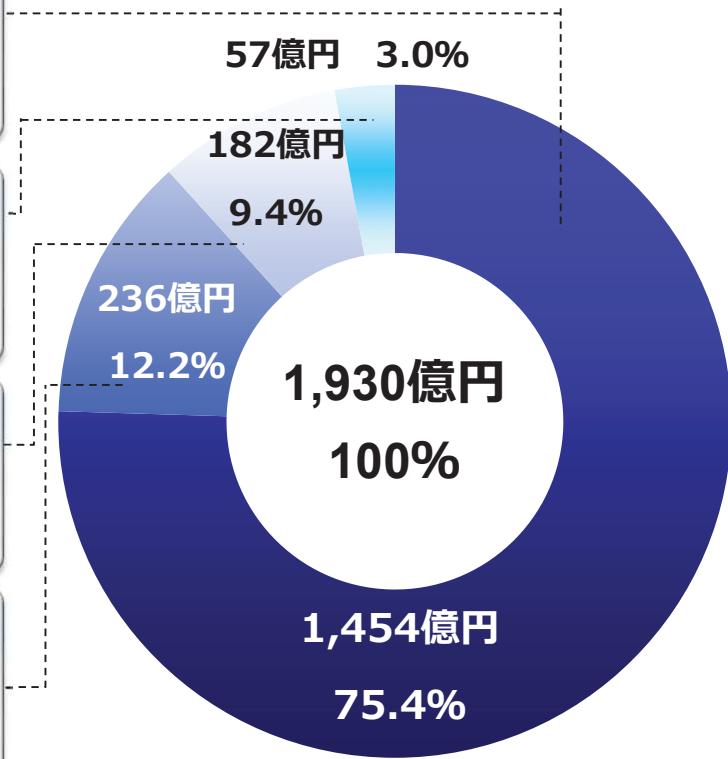
※後期高齢者医療に関する会計
・無料健康相談、基本健診、夏季・秋季保養施設開設等

● 介護保険会計

※介護保険に関する会計
・要介護認定、保険給付、給付費通知等

● 国民健康保険事業会計

※国民健康保険に関する会計
・各種保険給付、無料健康相談、医療費通知、特定健康診査等



3 令和2年度予算による区民生活の変化

災害に強い港区に

詳細は 14 頁

- 記録的な台風における教訓を踏まえ、風水害や地震への備えを強化します！



止水板の設置、土のうの配備など、区有施設の浸水対策を強化します！



区有施設の浸水対策強化

助成制度を拡充して、土砂災害（特別）警戒区域を解消します！



かけ・擁壁改修工事助成拡充

液体ミルク、スマートフォン用充電器等、避難所機能を強化します！



避難所機能の強化

子どもたちが安全・安心な港区に

詳細は 10 頁

- 幼稚園・保育園の登降園、散歩時に子どもたちを巻き込んだ事件等を踏まえ、安全対策を強化します！



散歩経路、通学路等にキッズゾーン、スクールゾーン等を設置します！



キッズゾーン等の設置

保育園の散歩など園外活動時の見守り安全対策を支援します！



園外活動見守り支援助成

防犯カメラ設置など私立幼稚園の安全対策を支援します！



助成金

私立幼稚園安全対策助成

子育てしやすい港区に

詳細は 8,10,11 頁

- 妊娠、出産から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援を推進します！



4か月未満の乳児と母親へ昼夜を通じた育児支援をします！



宿泊型ショートステイ事業

多子世帯の保育料の無償化や、多胎児の出産費助成を拡充します！



多子、多胎児家庭への支援

24時間いつでも気軽に育児の悩み等の相談が可能となります！



保護者の子育て相談ねっと



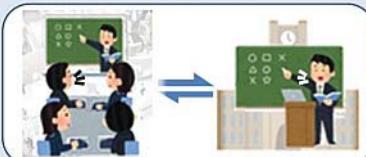
多様な学びの機会を提供する教育の港区に

詳細は9,11頁

- 障害のある児童・生徒一人ひとりの障害の種類や程度に応じて、適切な教育が受けられるよう、多様な教育の機会を提供します！



特別支援教室通級児に対する遠隔学習事業を実施します！



ビデオチャットを活用した遠隔学習

特別支援学級の職場体験を充実します！



職場体験の複数業種実施

中学校難聴学級（通級）を開設します！



中学校難聴学級開設

障害者に配慮した港区に

詳細は11～13頁

- 手話言語の理解の促進及び障害者の多様な意思疎通手段の利用の促進に関する条例制定に基づき、障害者福祉施策を充実します！



窓口で二次元コードによる遠隔手話通訳が利用できます！



二次元コードの遠隔手話通訳

小・中学校で補聴器を使用する子どもたちの授業環境が向上します！



補聴器用集音マイク等配備

養護者亡き後の生活プランを作成し、安心な生活環境を整えます！



養護者亡き後の生活プラン作成

高齢者がいきいきと暮らせる港区に

詳細は48,49頁

- 住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、認知症徘徊による事故等の損害賠償責任保険の付加や高齢者福祉施設の整備に向けて取り組みます！



認知症徘徊による事故等の損害賠償保険を付加します！



おかえりサポートへの保険付加

麻布いきいきプラザの改築に向けて設計に着手します！



麻布いきいきプラザの改築

認知症高齢者グループホーム等の整備を支援します！



認知症高齢者施設等の整備

快適で生活しやすい港区に

詳細は 16, 19 頁

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機に、公園、道路のバリアフリー化、受動喫煙防止対策を充実します！

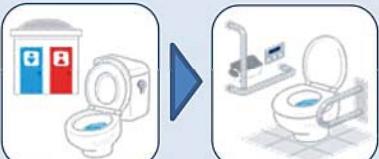


バリアフリー化、誘導ブロックの設置など誰でも利用しやすい環境にします！



誰でも利用しやすい環境整備

公園トイレの誰でもトイレ化を進めます！



公園トイレの多機能化

飲食店等への喫煙専用室の設置など屋内喫煙所の整備を促進します！



受動喫煙防止対策の強化

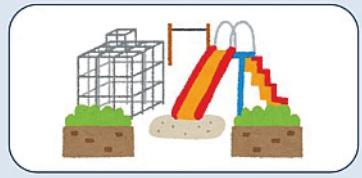
魅力あふれる港区に

詳細は 18 頁



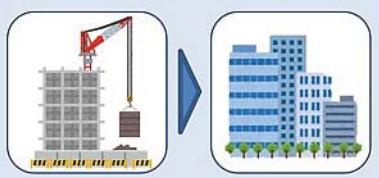
- 橋りょうライトアップや、公園及び市街地再開発事業による駅前拠点の整備により、都市機能の向上とまちの魅力を高めます！

地域のニーズに合わせ、安全で快適に利用できる公園を整備します！



身近な公園の整備

駅前広場などが整備され、地域防災などの都市機能が向上します！



都市機能の向上

橋りょうのライトアップを実施し、運河の魅力を向上させます！



運河の魅力を向上

環境にやさしい港区に

詳細は 19 頁



- 二酸化炭素排出量削減や海洋プラスチックごみの発生抑制の取組を推進し、環境に配慮した持続可能な社会を実現します！

建物の省エネ・低炭素化の設備更新を支援します！



建築物低炭素化の促進

啓発事業を通じ、海洋に流れるプラスチックごみ発生を抑制します！



海洋プラスチックごみの発生抑制

連携自治体の再生可能エネルギーを区内事業者に紹介します！



全国連携エネルギーの活用

誰もが住みやすい港区に

詳細は 15,17 頁

- 音声翻訳機の配備、日本語学習機会の確保など言葉の壁をなくす取組や、みなとマリアージュ制度の啓発など、誰もが住みやすい環境を整備します！



音声翻訳機の配備により、多様な言語での会話が可能になります！



各施設への音声翻訳機配備



日本語学習方針を策定し、学習支援体制を構築します！



日本語学習を受ける機会の確保



みなとマリアージュ制度の啓発により、誰もが住みやすい社会にします！



みなとマリアージュ制度の推進

地域がにぎわう港区に

詳細は 18,36 頁



- 地域コミュニティの核となる町会・自治会、商店街や中小企業の活動を支援し、地域のにぎわい、活性化を推進します！

町会等の掲示板、防犯カメラの設置経費の補助を拡充します！



掲示板・防犯カメラ補助金拡充

新規顧客獲得や多言語化等に向けた設備等の経費を助成します！



チャレンジ商店街店舗応援

区内中小企業と、大学や大企業とをマッチングします！



オープンイノベーション創出



I C T を活用した便利な港区に

詳細は 10,15,17 頁



- スマートフォンのアプリによる予防接種のスケジュール管理、やさしい日本語のホームページ、5 Gの活用など I C T を活用して区民サービスを向上させます！

予防接種の日程管理が簡単になります！



みなと母子手帳アプリ

新しくやさしい日本語のホームページを作ります！



やさしい日本語のホームページ

5 Gの区民サービスへの活用に向けた検討を開始します！



5 Gの区民サービスへの活用

4 令和2年度予算で取り組む重点施策

重点施策 1

子どもを地域社会で健やかに育むための取組

77億1,400万円

(仮称) 港区子ども家庭総合支援センター開設と児童虐待対策への取組 21億5,732万円

- 令和3年4月に、子ども家庭支援センター、児童相談所、母子生活支援施設の複合施設である(仮称)港区子ども家庭総合支援センターを南青山五丁目に開設します。
- 3施設は児童虐待や非行、DVなどの子どもと家庭の問題に対し、未然防止から調査、援助、保護、里親委託、施設等への措置、家庭復帰まで、子どもの権利を擁護し、迅速に切れ目なく対応していきます。
- 地域の子どもに関連する施設や機関と連携体制を強化し、妊娠期から子育て期、思春期、児童の自立まで、切れ目なくきめ細かな支援を行います。

<地域との連携イメージ>



<3施設の機能と令和2年度の主な取組>

子ども家庭支援センター

<機能>

子育て中の人が集う子育て支援の拠点です。子どもと家庭に関する相談に幅広く対応します。

<取組>

- ・現在の三田1丁目からの移転に向けた準備
- ・子育てひろばの開設準備
- ・養育支援家庭への食事支援の強化【レベルアップ事業】
- ・保護者向け子育て相談ねっとの導入【レベルアップ事業】等

児童相談所

<機能>

子どもに関する相談に、専門的な知識や援助、技術を活用して対応します。

<取組>

- ・児童相談所設置市としての政令指定の申請
- ・施設建設や設備、物品の購入などのハード面の整備
- ・人材の確保・育成、東京都からのケース引継ぎ
- ・里親拡大に向けた周知啓発等

母子生活支援施設

<施設名称>

メゾン・ド・あじさい

<機能>

様々な事情から養育が困難となった母子家庭が入所し、安定した生活と自立を支援します。

<取組>

- ・物品の購入などの施設開設に向けた準備
- ・施設の周知
- ・支援ネットワークの構築準備

教育センター・みなと科学館開設を契機とした学校支援・相談体制の強化 3億6,957万円

- 令和2年4月1日に、教育センターと121席のプラネタリウムを有するみなと科学館を、気象庁との複合施設として開設します。

教育センター・みなと科学館の概要



- 教育センターに学校図書館支援機能を置き、新たな運営体制による学校図書館の運営を円滑に行えるよう、各小・中学校へ学校図書館支援アドバイザーを派遣します。

- みなと科学館において、小・中学校特別支援教室に通級する児童・生徒に対し、東京大学先端科学技術研究センターと連携して、ビデオチャットを活用した遠隔学習事業等を実施します。

遠隔学習事業イメージ図



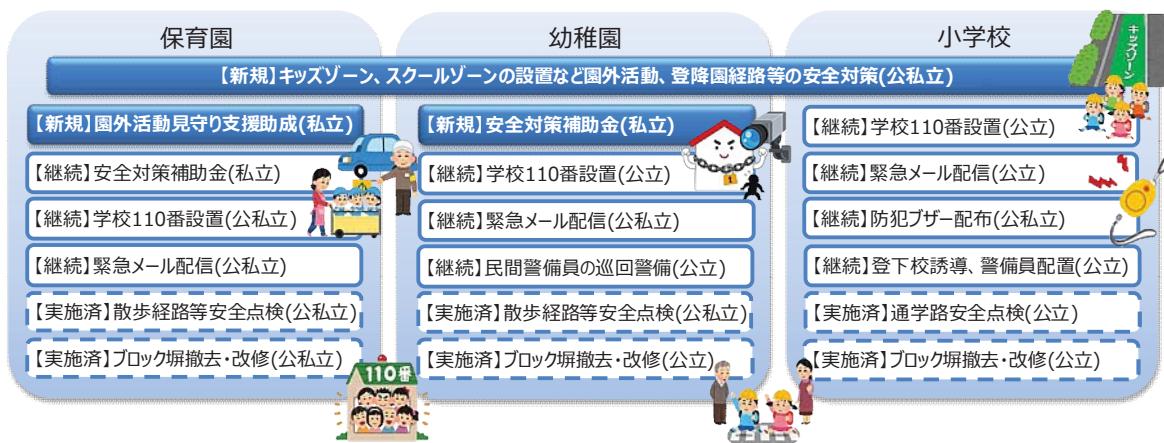
双向
遠隔学習



登降園・通学時や園外活動等の安全対策の強化

5,529万円

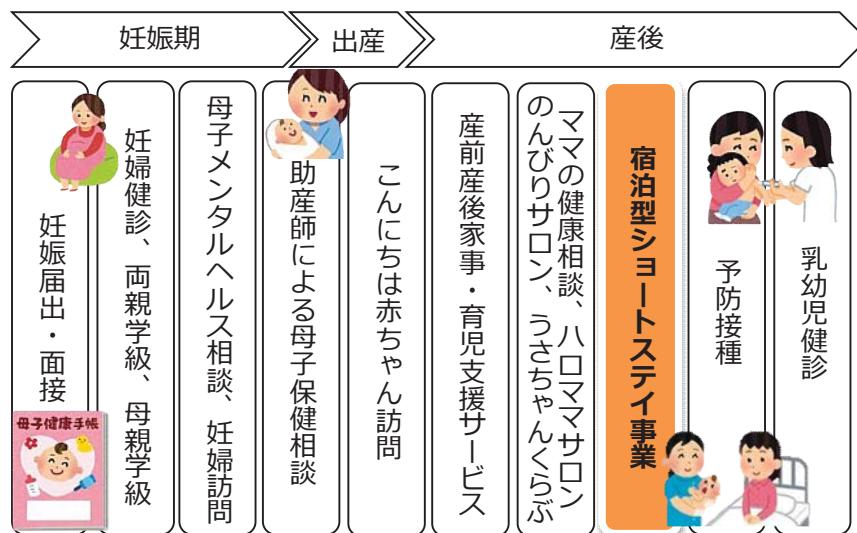
- 登降園、散歩時の子どもたちを巻き込んだ事件を踏まえ、散歩経路・通学路など保育園、幼稚園等の近くに必要に応じて、キッズゾーン・スクールゾーン等を設置します。
- 子どもが集団で移動する際の安全を確保するため、私立認可保育園に対し、園外活動時の見守り等を行う支援者配置に要する経費を補助します。
- 私立幼稚園の安全対策を強化するため、門の自動施錠化、防犯カメラ設置、防犯用品購入、学校110番の更新等に係る経費の一部を補助します。



妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の強化

1億 8,425万円

- A Iによる予防接種スケジュール管理や母子手帳の記録をデータで保管できることともに、区の子育て支援情報を配信する「みなと母子手帳アプリ」を導入します。
- 保健所で実施する乳幼児健診の機能を強化するため、新たに屈折異常、斜視のスクリーニング検査を実施します。
- 母親の不安感が強くなりがちな産後4か月までの母子を対象に、医師、助産師などにすぐに相談できる体制の中で宿泊できる「宿泊型ショートステイ事業」を開始します。



児童・生徒数の増加に対応した教育環境の整備と特別支援教育の推進 33億3,091万円

- 児童・生徒数の増加に対応し、より良い教育環境を確保するため、小・中学校の増改築等を実施します。
- 御成門小学校に設置している「ことばときこえの教室」内に中学校難聴学級を開設するとともに、集団生活や体育館など広い場所での補聴器の聞き取りづらさを解消するため、難聴児が在籍する小・中学校に補聴器と連動した集音マイクや中継器を配備します。
- 小・中学校特別支援学級の児童・生徒のキャリア教育を推進するため、保護者向けの講演会等を実施するとともに、企業との連携により職場体験を充実します。



待機児童ゼロの継続と子育て環境の充実

11億8,249万円

- 平成31年4月に達成した待機児童ゼロを継続するため、令和2年4月までに保育定員を更に586人拡大し、総定員を9,033人とします。令和2年度は引き続き、私立認可保育園の誘致など、保育定員の拡大に取り組みます。



- 兄、姉の年齢にかかわらず第2子以降の子どもの保育園保育料や幼稚園の子育てサポート保育年間利用保育料等を無料にするとともに、多胎児に係る出産費用助成を増額するなど、多子・多胎児世帯への支援を充実します。

- 区内全保育施設を対象とした合同研修会や園長会を実施するとともに、巡回支援指導員による巡回指導や相談体制を強化するなど、区内保育施設の保育の質向上を図ります。

- 病児・病後児保育室の利便性の向上を図るために、各施設に予約システムを導入します。

重点施策1 その他の取組

4億3,417万円

事業名（主な取組）	予算額
教職員の働き方改革推進事業（教職員の負担軽減に繋がる取組の実施）	1億6,137万円
旧神戸小学校改修（改修に向けた基本設計・実施設計の実施）	1億183万円
タブレット端末活用推進事業（お台場学園へのタブレット端末1人1台配備）	7,913万円
学習支援事業（中学生学習支援事業の中学生3年生への対象拡大）	6,899万円
ほか7事業	2,286万円

重点施策 2

安全・安心で誰もが自分らしく暮らせるための取組 93 億 4,887 万円

障害者福祉施策の総合的な推進

25 億 6,585 万円

○令和元年 12 月に施行した「港区手話言語の理解の促進及び障害者の多様な意思疎通手段の利用の促進に関する条例」に基づき、区の障害者施策を拡充します。

条例に基づく施策の基本方針

手話が言語であることの理解の促進に関する施策（第 8 条関係）

障害の特性に応じた多様な意思疎通手段の利用の促進に関する施策（第 9 条関係）

手話が言語であることの理解の促進に関する取組

- ① 障害のある方と共に新規条例の啓発講演会を実施
- ② 理解促進のための手話言語ハンドブックを作成
- ③ 点字や音声読み上げ二次元コード付の啓発封筒を作成
- ④ 手話を学べる動画を作成し、区ホームページ、デジタルサイネージ等で配信
- ⑤ 手話講習会の定員を拡大
- ⑥ 手話通訳者登録試験の再チャレンジを応援するクラスを設置



障害の特性に応じた多様な意思疎通手段の利用の促進に関する取組

- ① 障害の特性を記述し、求められる基本的な配慮をまとめたガイドラインを作成し、事業者や区職員の研修等で活用
- ② 障害特性の理解や配慮の実践に活用できるハンドブックを作成
- ③ 区主催事業へ手話通訳者及び要約筆記者を配置
- ④ スマートフォン等で遠隔手話通訳が利用できる二次元コードを窓口に設置
- ⑤ ヘルプマークや耳マークを活用した障害者に配慮した防災訓練を実施
- ⑥ 視覚障害者等の活動に同行して援護する研修や知的障害者や精神障害者等の行動を援護する研修経費の一部助成を実施
- ⑦ 聴覚障害のある児童及び生徒が通う学校に集音マイクや中継器等を配備し、学校での意思疎通を支援【再掲 11 頁】



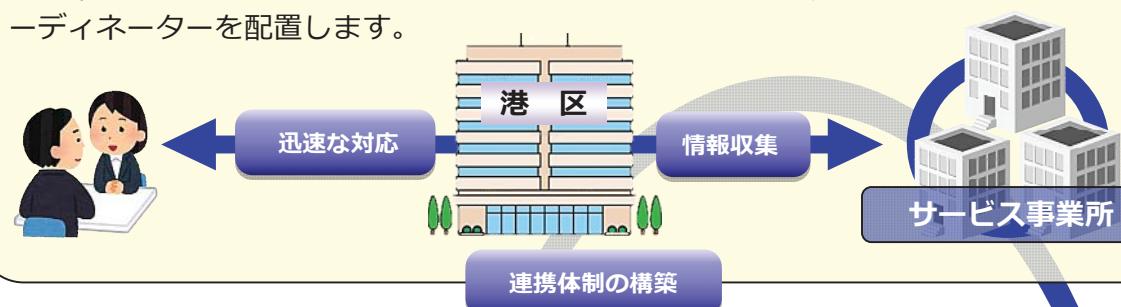
○障害者の就労支援を促進するため、不燃ごみ等から回収した電化製品等からコード類剥離等を行う業務に加え、新たに携帯電話機を分解して基盤を取り出し資源化する業務を障害者就労支援施設で実施します。

○障害者の重度化、高齢化や親等の養護者亡き後の地域移行等を見据えて、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築するため、次の新しい事業に取り組みます。

【港区役所】

障害者福祉課で実施している総合相談体制の強化を図り、「養護者亡き後」に備えた生活プランを事前に作成するとともに、より適切な生活プランを作成するために、日中活動やグループホームの体験利用を実施します。

また、相談内容に応じて迅速に対応するため、施設の空き状況等の情報収集による各事業所のサービス提供体制の確認や、地域の関係機関と連携体制の構築等を行うコーディネーターを配置します。



【障害保健福祉センター】（施設改修後 令和2年12月開始予定）

特別支援学校に通学する重症心身障害児が、放課後や学校休業中に、生活能力向上のための必要な訓練、社会との交流を持つ場として放課後等デイサービス事業を実施します。

また、発達障害者の社会参加の機会創出や、自己の理解を進めるプログラムなど、日常生活における課題を解決するための支援として発達障害者生活訓練事業を実施します。

【児童発達支援センター】（令和2年4月開設予定）

地域療育の中核施設として、障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援）、障害児相談支援、計画相談支援及び総合相談を実施します。

※併設の障害者支援ホーム南麻布は令和2年3月開設



【精神障害者支援センター】（令和3年4月開設予定）

精神障害者地域活動支援センターを改築し、名称を変更します。新たに就労継続支援、短期入所、生活体験プログラム事業に取り組み、精神障害者等が地域の中で自立した日常生活及び社会生活が送れるよう支援を充実するため、令和3年4月の開設に向け準備を進めています。

※施設図はイメージです。開設予定施設の情報は72頁を参照ください。

地震・風水害等の自然災害への対策の強化

61 億 4,910 万円

○近年頻発する豪雨災害などの風水害への備えも含め、これまでの備えを点検し、被災地で得られた新たな教訓に対しても十分に対応できるよう、避難所の強化や共同住宅の防災対策、がけ、擁壁への備えの強化に取り組みます。

● 近年の大規模な災害と得られた教訓等

発生時期	災害名	被災地	教訓、課題となつた事項
平成 30 年 6 月	大阪府北部の地震	大阪府	ブロック塀への対策
平成 30 年 7 月	平成 30 年 7 月豪雨	岡山県など	避難情報の伝達
平成 30 年 9 月	北海道胆振東部地震	北海道	避難所における停電対策
令和元年 9 月	令和元年台風第 15 号	千葉県など	大規模停電への備え
令和元年 9 月	土砂災害（特別）警戒区域の指定		がけ・擁壁の改修促進
令和元年 10 月	令和元年台風第 19 号	福島県など	河川氾濫の対策、在宅避難者支援

近年の取組成果

- ①区有施設のブロック塀等の改修（平成 30 年度）
- ②民間所有のブロック塀等除却・設置工事費用の助成開始（平成 30 年度）
- ③避難所における暑さ対策（令和元年度）
- ④浸水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップの改定、全戸配布
(令和元年度)
- ⑤震災復興基金の積立て（平成 28 年度から）



令和 2 年度の取組

- 風水害や発生が危惧される首都直下地震への備えとして、防災ラジオの配付対象拡大、共同住宅の防災対策の充実、液体ミルクの備蓄やスマートフォン充電対策等自主避難施設・避難所の機能強化、止水板設置等区有施設の浸水対策に取り組みます。
- 土砂災害への備えを強化するため、がけ、擁壁の所有者に対し改修の必要性を働きかける「がけ・擁壁安全ハンドブック」を作成し配布するとともに、新たにがけ・擁壁の改修工事を検討している区民等に対して専門家を派遣する「がけ・擁壁改修工事アドバイザー派遣」を実施します。さらに、がけ・擁壁改修工事支援事業を拡充し、対象者の拡大、助成限度額の拡充を実施します。



誰もが自分らしく暮らせる取組の推進

1億 565万円

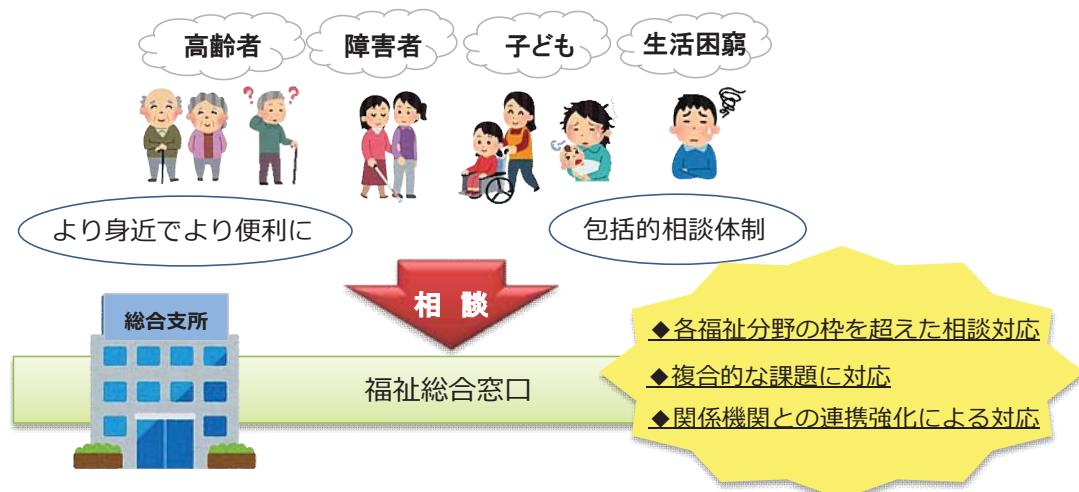
- 新たな情報発信手段として、スマートフォン向けアプリ LINE を活用した区政情報のプッシュ配信を開始します。また、区ホームページ上に A I チャットボットを表示させ、よくある質問や問合せに 24 時間 365 日対応できる仕組みを整備します。
- 区ホームページに「やさしい日本語」のページを作成し、外国人等への情報提供を行うとともに、港区版日本語学習方針を策定し、港区ならではの学習支援体制を構築します。
- 「みなとマリアージュ制度」の導入に伴い、制度の周知啓発に取り組み、性的指向・性自認にかかわらず誰もが住みやすい社会づくりを推進します。



福祉総合窓口の設置に向けて

1,002万円

- 地域社会を取り巻く環境の変化等により、一人ひとりが抱える福祉ニーズは、多様かつ複雑化しています。このような状況において、対象者別の縦割な相談支援体制では対応が困難となるケースが増えています。
8050 問題やダブルケア、医療及び就労ニーズを有するがん患者や難病患者への対応など、個人だけでなく家庭や世帯の抱える複合的かつ多様な課題に対応するため、各福祉分野の制度や世代を特定しない包括的な相談体制の構築に向けた検討に着手し、令和4年度に福祉総合窓口を設置します。



重点施策 2 その他の取組

5億 1,824万円

事業名（主な取組）	予算額
高輪三丁目福祉施設整備（施設整備に向けた運営事業者への補助）	3億726万円
各地区生活安全活動推進事業（防犯カメラ等整備費補助金の拡充）	7,003万円
（仮称）南青山二丁目公共施設整備（施設整備に向けた実施設計の実施）	6,184万円
糖尿病等重症化予防事業（国民健康保険の被保険者へのアルブミン尿検査勧奨）	2,189万円
ほか 6 事業	5,722万円

重点施策 3

まちがにぎわい輝くための取組 111億4,099万円

東京2020大会の成功とレガシーへの取組

8億648万円

- 令和2年7月から開催される東京2020大会の成功に向け、まちのバリアフリー化、喫煙対策を推進するとともに、大会期間中にイギリスオリンピック委員会へ選手のトレーニング等の場としてお台場学園を提供するなど、大会成功を支えます。
- 文化プログラム、聖火リレーセレブレーション、コミュニティライブサイトの実施など大会期間中は港区全体で東京2020大会を盛り上げます。
- パラリンピックに向けた「平和の灯」の採火や、大会後の区有施設へのマスコット像、公園への銘板等の設置など確かなレガシーを創出します。



ICTを活用した更なる区民サービス向上への取組

8,508万円

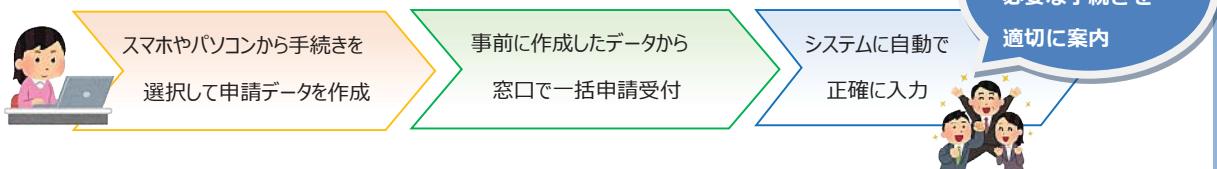
○複数の申請書をシステムで一括して作成し、ワンストップで受け付けることで、窓口での待ち時間を削減し、区民サービスを向上するとともに、申請データの入力を自動化し業務を効率化する窓口総合支援システムの令和4年度導入に向けた準備を進めます。

<これまでのICT活用の例>



ICTの更なる活用

<行政手続きの効率化>



○多言語対応を充実させるため、窓口等に音声翻訳機を配備します。

○区民が5G（次世代移動通信システム）の超高速通信サービスを広く受けられるよう、民間事業者と連携し、区の建物や公園等を5Gの基地局設置場所として提供します。

○区民の5G利用環境の早期構築や区民サービスへの適用に向け、5Gに関する基礎調査を行います。また、産官学連携により、地域での5G活用に向けた検討を進めます。

5Gの3つの特長

4G:第4世代移動通信システム

超高速通信
(大量のデータ送信)

4Gの100倍

超低遅延
(通信にタイムラグが生じない)

4Gの1/10

多数同時接続

4Gの30~40倍

平時の区政情報の発信等に加え、災害時にも超高速かつ同時に多くの端末が接続可能となる特長を生かして、迅速な交通機関の状況等の情報収集が可能となります。

“産官学連携で港区 Society5.0 の実現へ”



5Gインフラ事業者

意見交換

5G普及に向けての方策

ローカル5Gの地域での活用

5Gによる区民生活の向上



区内研究機関

区内ICT事業者

地域のにぎわいを創出する取組

3億 7,614 万円

- 町会・自治会が抱える個別課題の解決に向け作成した活動応援個別プログラムについて効果検証を行うとともに、掲示板設置等補助金のうち新設及び建替えの限度額を引き上げ、町会等の負担を軽減します。
- にぎわいや魅力あふれる商店街の形成を支援するため、商店会等が行イベント事業に対する補助金を拡充するほか、商店会加盟店舗の新規顧客獲得、多言語対応、人手不足対応、営業時間拡大に要する経費の補助を新設します。
- 中小企業者の新製品、新技術開発や事業創出を支援するため、大学等とのマッチング会を開催して、オープンイノベーションを推進します。また、大学等研究機関との共同研究に係る経費の補助や産業財産権に係る相談体制を新設し、製品開発力や競争力の強化を図ります。

港区の強みを生かした産業の活性化と新たな産業の創造・育成



67 億 5,417 万円

街の魅力を高め、国内外へ発信する取組

- 誰もが安全で快適に利用できる魅力あるまちづくりのため、本村公園等の整備、三田綱町児童遊園等でのトイレの整備や、市街地再開発事業での地下鉄虎ノ門駅の駅前広場等の整備を進めるとともに、運河の橋りょうである浜路橋のライトアップを実施します。
- 港区の魅力やブランドを国内外に発信するため、MINATOシティプロモーションクルー認定事業に係る補助率を引き上げるとともに、新たなワールドプロモーション映像を制作し配信します。



環境配慮行動を促し、持続可能な社会を実現するための取組

9,721万円

○海洋に流出するプラスチックごみを抑制するため、若年層の関心を高める啓発事業を実施し、使い捨てプラスチックの利用を見直す契機とします。



○二酸化炭素排出量を削減するため、民間事業者に対し、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、建築物を対象とした省エネ基準遵守や排出実績公表の義務化など条例施行に向けた周知を行うとともに、設備投資が円滑に行えるよう助成を行います。



健康増進法や都条例の全面施行に対応した受動喫煙防止対策の強化

5億 2,258万円

○受動喫煙防止対策を強化するため、飲食店等を運営する事業者に対して喫煙専用室の設置に関するアドバイザーを派遣します。また、屋内喫煙所維持管理費助成の期間を延長し、受動喫煙防止の措置がとられた屋内の指定喫煙場所の維持、整備を促進します。



重点施策3 その他の取組

24億 9,933万円

事業名（主な取組）	予算額
(仮称)産業振興センター等整備（令和3年度開設に向けた整備工事の実施）	11億6,156万円
都市計画道路整備（都市計画道路補助第7号線等の整備）	4億7,949万円
伝統文化交流館管理運営（令和2年4月開設の伝統文化交流館の運営）	8,874万円
都市計画公園整備（都市計画三田台公園の整備）	3,220万円
ほか8事業	7億3,734万円

